

# 2026年度 カリキュラム・マップ【薬学部薬学科】

## ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<全学共通基盤科目>	●	協創力体験演習Ⅰ	◎	◎	
<全学共通基盤科目>	●	協創力体験演習Ⅱ	◎	◎	
<全学共通基盤科目>	●	協創力実践演習	◎	◎	
<基本科目>	●	フレッシュマンセミナー(薬学)A	◎	◎	○
<基本科目>	●	フレッシュマンセミナー(薬学)B	◎	○	○
<基本科目>	●	コミュニケーションのための基礎英語A	△	○	
<基本科目>	●	コミュニケーションのための基礎英語B	△	○	
<専門科目> 必修	●	統合科学演習A			◎
<専門科目> 必修	●	生物学A			◎
<専門科目> 必修	●	生物学B			◎
<専門科目> 必修	●	物理化学A			◎
<専門科目> 必修	●	生理学A	△		◎
<専門科目> 必修	●	物理化学B			◎
<専門科目> 必修	●	有機化学A			◎
<専門科目> 必修	●	無機化学	△		◎
<専門科目> 必修	●	基礎有機化学	△		◎
<専門科目> 必修	●	薬学実習A	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	薬学実習B	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	微生物学			◎
<専門科目> 必修	●	薬学概論	◎	○	◎
<専門科目> 必修	●	細胞生理学			◎
<専門科目> 必修	●	解剖学	△		◎
<専門科目> 必修	●	生化学A	△		◎
<専門科目> 必修	●	生化学B	△		◎
<専門科目> 必修	●	基礎薬理学	△		◎
<専門科目> 必修	●	分析化学A			◎
<専門科目> 必修	●	分析化学B			◎
<専門科目> 必修	●	物理薬剤学A	△		◎
<専門科目> 必修	●	物理薬剤学B	△		◎
<専門科目> 必修	●	免疫学			◎
<専門科目> 必修	●	有機化学B			◎
<専門科目> 必修	●	生理学B			◎
<専門科目> 必修	●	薬理学A			◎
<専門科目> 必修	●	薬学総合演習A	△	○	◎
<専門科目> 必修	●	有機化学C			◎
<専門科目> 必修	●	薬学実習C	△	○	◎
<専門科目> 必修	●	薬学実習D	△	○	◎
<専門科目> 必修	●	病態学A	○		◎

# 2026年度 カリキュラム・マップ【薬学部薬学科】

## ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に付け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<専門科目> 必修	●	基礎栄養学	△		◎
<専門科目> 必修	●	薬学英語入門		○	◎
<専門科目> 必修	●	病原微生物学			◎
<専門科目> 必修	●	生薬学			◎
<専門科目> 必修	●	生物有機化学演習			◎
<専門科目> 必修	●	生化学C			◎
<専門科目> 必修	●	薬理学B			◎
<専門科目> 必修	●	薬理学C			◎
<専門科目> 必修	●	薬学総合演習B	△	○	◎
<専門科目> 必修	●	薬学実習E	△	○	◎
<専門科目> 必修	●	薬学実習F	△	○	◎
<専門科目> 必修	●	薬物治療学A	○		◎
<専門科目> 必修	●	薬物治療学B	○		◎
<専門科目> 必修	●	生物統計学演習	△		◎
<専門科目> 必修	●	公衆衛生学A			◎
<専門科目> 必修	●	医薬品化学			◎
<専門科目> 必修	●	病態学B	○		◎
<専門科目> 必修	●	病態学C	○		◎
<専門科目> 必修	●	毒性学A			◎
<専門科目> 必修	●	毒性学B	○		◎
<専門科目> 必修	●	実用薬学英語	△	○	◎
<専門科目> 必修	●	社会と薬学	△	△	◎
<専門科目> 必修	●	調剤処方学	△	△	◎
<専門科目> 必修	●	薬物動態学			◎
<専門科目> 必修	●	生物薬剤学			◎
<専門科目> 必修	●	漢方薬			◎
<専門科目> 必修	●	コミュニケーション体験演習	○	◎	○
<専門科目> 必修	●	薬学総合演習C	○	△	◎
<専門科目> 必修	●	公衆衛生学B	○		◎
<専門科目> 必修	●	薬物治療学C			◎
<専門科目> 必修	●	製剤学			◎
<専門科目> 必修	●	臨床前実習A	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	臨床前実習B	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	医薬品情報学			◎
<専門科目> 必修	●	コミュニティファーマシー論	○		◎

# 2026年度 カリキュラム・マップ【薬学部薬学科】

## ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に付け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<専門科目> 必修	●	薬剤師関係法制度概論	○		◎
<専門科目> 必修	●	薬物治療演習	△		◎
<専門科目> 必修	●	調剤処方演習	△	○	◎
<専門科目> 必修	●	医療栄養学	○		◎
<専門科目> 必修	●	医薬品開発・治験論			◎
<専門科目> 必修	●	卒業研究	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	臨床後演習	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	病院実習	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	薬局実習	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	薬学総合演習D	△	△	◎
<専門科目> 必修	●	統合演習	△	△	◎
<専門科目> 必修	●	社会保障制度と薬学経済	△	△	◎
<専門科目> 必修	●	臨床実習前講義A	○	○	◎
<専門科目> 必修	●	臨床実習前講義B	○	○	◎
<専門科目> 選択必修	●	地域医療論		△	◎
<専門科目> 選択必修	●	医療薬学論	△		◎
<専門科目> 選択必修	●	法医薬学実務論	△		◎
<専門科目> 選択必修	●	栄養・薬学マネジメント論	△	△	◎
<専門科目> 選択		統合科学演習B			○
<専門科目> 選択		医療における栄養			○
<専門科目> 選択		天然物化学			○
<専門科目> 選択		公衆衛生学C			○
<専門科目> 選択		医療における食品学			○
<専門科目> 選択		食品調理加工学実習			○
<専門科目> 選択		ライフステージ栄養学	○		◎
<専門科目> 選択		食品機能学			○

# 2026年度 カリキュラム・マップ【薬学部薬学科】

## ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に付け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<専門科目> 選択		ハーブ論			○
<専門科目> 選択		総合生物	△		○
<専門科目> 選択		選択実験	○		○
<専門科目> 選択		臨床心理学	△		○
<専門科目> 選択		医療栄養学演習	○		◎
<専門科目> 選択		放射化学実習			○
<専門科目> 選択		医薬品・食品・化粧品マーケティング論	○		○
<専門科目> 選択		臨床検査学			○
<専門科目> 選択		有機化学演習			○
<専門科目> 選択		物理化学演習			○
<専門科目> 選択		緩和医療学	◎	○	◎
<専門科目> 選択		コミュニティファーマシーインターンシップ	△	○	○
<専門科目> 選択		薬毒物分析			○
<専門科目> 選択		看護・介護・社会福祉演習	○		○
<専門科目> 選択		海外薬学英語研修A	△	○	△
<専門科目> 選択		海外薬学英語研修B	△	○	△
<専門科目> 選択		海外薬学英語研修C	△	○	△
<関連科目>		情報科学(演習含む)	△		△
<関連科目>		ドイツ語ⅠA	△	△	
<関連科目>		ドイツ語ⅠB	△	△	
<関連科目>		ドイツ語ⅡA	△	△	
<関連科目>		ドイツ語ⅡB	△	△	
<関連科目>		フランス語ⅠA	△	△	
<関連科目>		フランス語ⅠB	△	△	
<関連科目>		フランス語ⅡA	△	△	
<関連科目>		フランス語ⅡB	△	△	
<関連科目>		中国語ⅠA	△	△	
<関連科目>		中国語ⅠB	△	△	
<関連科目>		中国語ⅡA	△	△	
<関連科目>		中国語ⅡB	△	△	
<関連科目>		韓国語ⅠA	△	△	
<関連科目>		韓国語ⅠB	△	△	
<関連科目>		韓国語ⅡA	△	△	
<関連科目>		韓国語ⅡB	△	△	
<関連科目>		倫理とは何か	△		
<関連科目>		地域と風土	△		
<関連科目>		現代社会と法Ⅰ(日本国憲法)	△		
<関連科目>		現代社会と法Ⅱ(国際法を含む)	△		
<関連科目>		社会学A	△		
<関連科目>		文化研究	△		
<関連科目>		人と文化	△		
<関連科目>		世界の中の日本	△		
<関連科目>		地域と大学	△		

# 2026年度 カリキュラム・マップ【薬学部薬学科】

## ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてのあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する”協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
			◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
<関連科目>		女性とダイバーシティ(女性の働き方)	△		
<関連科目>		近世の日本史Ⅰ	△		
<関連科目>		日本の文学Ⅰ	△		
<関連科目>		心理学Ⅰ	△		
<関連科目>		資格英語ⅠA	△	○	
<関連科目>		資格英語ⅠB	△	○	
<関連科目>		English CommunicationⅠA	△	○	
<関連科目>		English CommunicationⅠB	△	○	
<関連科目>		Oral EnglishⅠA	△	○	
<関連科目>		Oral EnglishⅠB	△	○	
<関連科目>		データサイエンス入門	△	△	△
<関連科目>		応用AⅠプログラミング	△		△
<関連科目>		社会科学におけるデータサイエンス	△		△
<関連科目>		ゲーム理論とAⅠ	△		△
<関連科目>		応用計量経済学	△		△
<関連科目>		金融データ分析	△		△
<関連科目>		海外研修Ⅰ	△	△	
<関連科目>		海外研修Ⅱ	△	△	
<関連科目>		海外研修Ⅲ	△	△	
<関連科目>		海外研修Ⅳ	△	△	
<関連科目>		ポーランド語A	△	△	
<関連科目>		ポーランド語B	△	△	
<関連科目>		スペイン語A	△	△	
<関連科目>		スペイン語B	△	△	
<関連科目>		マレー語A	△	△	
<関連科目>		マレー語B	△	△	
<関連科目>		留学英語A	△	○	
<関連科目>		留学英語B	△	○	
<関連科目>		健康スポーツⅠA	△		
<関連科目>		健康スポーツⅠB	△		
<関連科目>		健康スポーツⅡA	△		
<関連科目>		健康スポーツⅡB	△		
<関連科目>		データ・リサーチリテラシー論	△		△
<関連科目>		スポーツ医学		△	○
<関連科目>		基礎化学計算	△		○
<関連科目>		基礎物理学	△		○

# 2026年度 カリキュラム・マップ【薬学部薬学科】

## ディプロマ・ポリシー

DP1: 学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身に着け、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、医療人としてあるべき姿を模索しつつ、医療の発展に貢献しようとする心構えを身につけている

DP2: 大学での学びを通じて、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、薬に関わる専門家として人々の生活に積極的に関わることで、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”を実践し、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。

DP3: 健康や医療に関する幅広い知識と技能といった薬剤師としての基本的資質に直結する能力とともに、医療栄養、高度地域医療、法医学、もしくは最先端医療に関する高い専門性を獲得し、またそれらの学びを通じて思考力・判断力を高め、将来にわたり自らの専門性を高めようとする心構えを有している。

分野系列	主要授業科目	科目名	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。		
			DP1	DP2	DP3
<関連科目>		自校史研究（建学の精神と大学の理念）	△		
<関連科目>		国際グローバル研修	△	△	
<関連科目>		グローバル社会と女性	△		
<関連科目>		女性とキャリアデザイン(女性と企業)	△		
<関連科目>		データサイエンスと数理統計	△		△
<関連科目>		機械学習とAI	△		△
<関連科目>		データサイエンス特別講義Ⅰ	△		△
<関連科目>		データサイエンス特別講義Ⅱ	△		△
<関連科目>		ハンガリー語A	△	△	
<関連科目>		ハンガリー語B	△	△	
<関連科目>		スタートアップ企業論入門	△		
<関連科目>		生涯スポーツ論	△		
<関連科目>		教養英語A	△	○	
<関連科目>		教養英語B	△	○	
<関連科目>		世界の文学	△	△	
<関連科目>		デザイン思考で取り組む地域課題	△	△	
<関連科目>		数学とは何だろうか	△		
<関連科目>		統計学で見る世界	△		
<関連科目>		コンピュータとプログラミングの世界	△		
<自由科目>		医薬品情報・マネジメント概論A	△		△
<自由科目>		医薬品情報・マネジメント概論B	△		△

◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価)

○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価)

△:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目